**げるにすること（１）**

**（がい）では、できるだけをわないでください**

げるとき、（がい）ではがむので、できるだけをわないでください。

がんで、やがれなくなります。

をめるときは、ほかのからしでもれたにめるほうがです。がえてになったとき、ないからです。

たくさんのがげているのくにをめるとないです。

をいてげるは、のときにをかせるようにのをつけたままにしてください。あとでのだとできるように、のからなどをして、にっていてください

**地震（じしん）　逃（に）げる時（とき）に注意（ちゅうい）すること（１）**

**都会（とかい）（人（ひと）が多（おお）い街（まち））では、できるだけ車（くるま）を使（つか）わないでください**

逃（に）げるとき、都会（とかい）（人（ひと）が多（おお）い街（まち））では道（みち）が混（こ）むので、できるだけ車（くるま）を使（つか）わないでください。

道（みち）が混（こ）んで、消防車（しょうぼうしゃ）や救急車（きゅうきゅうしゃ）が通（とお）れなくなります。

車（くるま）を停（と）めるときは、ほかの車（くるま）から少（すこ）しでも離（はな）れた場所（ばしょ）に停（と）めるほうが安全（あんぜん）です。車（くるま）が燃（も）えて火事（かじ）になったとき、危（あぶ）ないからです。

たくさんの人（ひと）が逃（に）げている場所（ばしょ）の近（ちか）くに車（くるま）を停（と）めると危（あぶ）ないです。

車（くるま）を置（お）いて逃（に）げる場合（ばあい）は、緊急（きんきゅう）のときに車（くるま）を動（うご）かせるように車（くるま）の鍵（かぎ）をつけたままにしてください。あとで自分（じぶん）の車（くるま）だと証明（しょうめい）できるように、車（くるま）の中（なか）から車検証（しゃけんしょう）などを出（だ）して、大切（たいせつ）に持（も）っていてください